第１回ＭＤＩＣ検定試験試験問題

医療概論・関連法規

2009年1月11日
10時30分～11時30分

受験番号							氏名						
							生年月日						

注意事項

1. **指示があるまで問題のページを開かないこと**
2. 設問は 40 題で，解答時間は 1 時間である。
3. 解答方法は次のようにすること。

1）記入は HB または B の鉛筆を使用し，芯をあまり尖らせないこと。

2）各問題には 1）から 5）までの 5 つの答が用意してある。そのうちから質問に適した答を 1 つ選び，次の例にならって解答用紙に記入すること。

〔例題〕**【問題××】**1 日のうちで昼間が最も短い日はどれか。

1）節分の日　　2）春分の日　　3）秋分の日

4）夏至の日　　5）冬至の日

正解は「5)」であるから解答用紙の解答欄

××｜ ① ② ③ ④ ⑤ のうちの ⑤ をぬりつぶし，

××｜ ① ② ③ ④ ● とする。 ⊙ ⦶ ⊡ ⊗ などは解答にならない。

3）解答を訂正する場合には**消しゴム**で，鉛筆のあとが残らないように完全に消してから書きなおすこと。消し残しは 2 重解答とみなされる。

4）1 問に 2 つ以上答えた場合（2 重解答）は解答とみなされない。

5）この問題冊子は持ち帰ってはならない。解答用紙とともに提出のこと。

【問題１】　我が国において病院機能を中立的な立場で評価しているのはどれか。

1）厚生労働省

2）（社）日本医師会

3）（独）医薬品医療機器総合機構

4）（財）日本医療機能評価機構

5）（社）日本病院会

【問題２】　生命倫理に深く関わるものとして不適切なのはどれか。

1）脳　死

2）遺伝子医療

3）人工透析

4）クローン人間

5）非配偶者間人工授精

【問題３】　インフォームド・コンセントについて誤りはどれか。

1）医師は必要な情報を患者に提供する。

2）患者は医師の提供した情報を十分に理解する。

3）患者は医師の示した診療を拒否できる。

4）患者は病気の治療法について自己決定権を持つ。

5）医師は患者からのセカンドオピニオンの依頼を拒否できる。

【問題４】　明治のはじめに我が国が医学・医療の手本としたのはどれか。

1）ロシア

2）ポルトガル

3）フランス

4）ドイツ

5）アメリカ

【問題５】　生活習慣病の原因でないのはどれか。

1）喫　煙

2）運動不足

3）アルコール

4）こころの健康

5）低血圧

【問題６】　セカンドオピニオンの目的はどれか。

1）疾病予防

2）院内感染対策

3）医療事故の防止

4）患者の意思決定

5）医療機器管理

【問題７】　我が国の 2007 年度の死亡率において最も高いのはどれか。

1）脳血管疾患

2）悪性新生物

3）肝疾患

4）心疾患

5）結　核

【問題８】　医療費の自然増の原因として不適切なのはどれか。

1）人口の増加

2）新しい医療技術の導入

3）人口の高齢化

4）疾病構造の変化

5）少子化

【問題９】　日本特有の医療費増加の要因として誤りはどれか。

1）病床数が多い。

2）在院日数が長い。

3）医療材料価格が高い。

4）受診回数が多い。

5）入院料が高い。

【問題 10】　国民健康保険法で定める保険者はどれか。

1）国

2）都道府県

3）市町村

4）事業所

5）共済組合

【問題 11】　社会保障制度が最も早くはじまった国はどこか。

1）イギリス

2）ドイツ

3）スウェーデン

4）アメリカ

5）日　本

【問題 12】　我が国の平成 16 年度（2004 年）の老年人口（65 歳以上）の割合はどれか。

1）20 人に 1 人

2）15 人に 1 人

3）10 人に 1 人

4）　5 人に 1 人

5）　3 人に 1 人

【問題 13】　平成 17 年度の国民所得は 367 兆円である。国民医療費はいくらか。

1）11 兆円

2）33 兆円

3）55 兆円

4）77 兆円

5）99 兆円

【問題 14】　薬事法における高度管理医療機器に該当するのはどれか。

1）ガーゼ

2）心臓カテーテル

3）鋼製器具

4）血圧計

5）体温計

【問題 15】　製造販売後安全管理の基準に関する省令（GVP 省令）の第 2 条に規定されているのはどれか。

1）医　師

2）薬剤師

3）リスクマネージャ

4）感染管理認定看護師

5）医療機器情報担当者

【問題 16】　医療法施行規則（2007 年 4 月 1 日施行）で規定された医療安全対策で誤りはどれか。

1）指針の整備

2）委員会の開催

3）職員研修の実施

4）紛争事例解決の取組み

5）改善のための方策

【問題 17】　薬事法における品質保証責任者は，品質不良またはその恐れにかかる事項が発生した場合，誰に報告しなければならないか。

1）責任技術者

2）品質管理責任者

3）安全管理責任者

4）総括製造販売責任者

5）工場長

【問題 18】　医薬品，医薬部外品，化粧品及び医療機器の品質管理の基準に関する省令はどれか。

1）GVP（Good Vigilance Practice）省令

2）GCP（Good Clinical Practice）省令

3）GQP（Good Quality Practice）省令

4）GLP（Good Laboratory Practice）省令

5）GPSP（Good Post-Marketing Study Practice）省令

【問題 19】　GVP 省令で定めている管理者はどれか。

1）管理監督者

2）工場長

3）責任技術者

4）製造管理者

5）安全管理責任者

【問題 20】　薬事法（2005 年改正）で規定する添付文書に記載しないのはどれか。

1）定　価

2）再使用禁止

3）禁忌・禁止

4）形状・構造及び原理等

5）保守点検

【問題 21】　薬事法における医療機器の本体または被包の表示に必要ないのはどれか。

1）医療機器の名称

2）製造販売業者の名称

3）製造番号または製造記号

4）使用の期限

5）JIS マーク

【問題 22】　医事部門の業務でないのはどれか。

1）患者受付

2）診療報酬請求

3）医事会計

4）医療材料の発注

5）各種統計資料の作成

【問題 23】　手術部門と関連性の低い部門はどれか。

1）栄養管理部門

2）放射線部門

3）輸血部門

4）病理部門

5）臨床工学部門

【問題 24】　誤りはどれか。

1）手術部門　――――　感染防止

2）輸血部門　――――　血液型検査

3）SPD 部門　――――　物品管理

4）臨床工学部門　――――　生命維持管理装置の操作

5）放射線部門　――――　外傷出血部への照射

【問題 25】　救急医療機関の厚生労働省令基準に該当しないのはどれか。

1）Ｘ線装置

2）心電図

3）輸血・輸液

4）専用病床

5）リハビリ

【問題 26】　集中治療部門（ICU）の対象疾患でないのはどれか。

1）大手術後

2）急性心不全

3）重傷熱傷

4）急性薬物中毒

5）末期癌

【問題 27】　栄養サポートチーム（NST）が対象でないのはどれか。

1）食物アレルギー

2）摂食障害

3）嚥下障害

4）低栄養

5）術後栄養管理

【問題 28】　薬剤部門の業務でないのはどれか。

1）調　剤

2）服薬指導

3）無菌製剤調製

4）医薬品情報管理

5）薬剤投与

【問題 29】　クリニカルインジケータの指標として不適切なのはどれか。

1）治癒成績

2）平均在院日数

3）合併症の発生率

4）死亡率

5）医師の数

【問題 30】　受診までの病院スタッフの手順について正しいのはどれか。

1）受診までの手助けをする。

2）診察前の問診は看護師が行う。

3）診察前の問診では病状のみを訊く。

4）診察前の検査の指示を出す。

5）受診科を病院スタッフが決める。

【問題 31】　治療方針を左右する因子について誤りはどれか。

1）年　齢

2）本人・家族の希望

3）生命予後（生命の危険性）

4）医療機関の設備

5）患者の収入

【問題 32】　手術について誤りはどれか。

1）麻酔前にタイムアウトを行うよう推奨されている。

2）麻酔医による術前診察が推奨されている。

3）手術方法は患者あるいは家族にあらかじめ説明する。

4）病巣を摘出することを手術という。

5）手術時間の短縮は患者の身体的負担を軽減する。

【問題 33】　トリアージについて正しいのはどれか。

1）患者の振り分けを指す。

2）外傷患者のみに必要となる。

3）迅速性は考慮されない。

4）日常診療では必要ない。

5）特定機能病院で行われる。

【問題 34】　クリニカルパスについて正しいのはどれか。

1）診療過程の変更は認めない。

2）医療事故防止のために考案された。

3）語源は病院の診察券である。

4）医療の世界独特の概念である。

5）患者にとって便利である。

【問題 35】　診療録（カルテ）について正しいのはどれか。

1）主治医のための個人情報の記録である。

2）医学的，法律的，社会的意味をもつ。

3）詳しい記載は不要である。

4）虚偽の記載ができる。

5）診察終了後は破棄する。

【問題 36】　診療録の法的保存期間はどれか。

1）　3 年

2）　5 年

3）　8 年

4）10 年

5）15 年

【問題 37】　初診時の患者基本情報で誤りはどれか。

1）資　産

2）患者番号

3）生年月日

4）電話番号

5）保険種別

【問題 38】　クリニカルパスの活用で誤りはどれか。

1）在院日数の短縮

2）医療費の定額化

3）医療の安全運用

4）訴訟への対応

5）診療の多様化

【問題 39】　EBM について誤りはどれか。

1）最新最良の医学知見を用いる。

2）臨床結果に基づく。

3）経験や直感にたよる。

4）科学的証拠に基づく。

5）客観的な疫学的観察による。

【問題 40】　処方箋に記載する項目で誤りはどれか。

1）血　圧

2）年　齢

3）医薬名

4）用　量

5）発行年月日